wood」Ex-9の後半も、同じように1弦の音を強調する装飾技。チョッピングと呼ばれるこれは、高揚感を音にした一種の感情表現だ。つまり、激高型のリッチーに欠かせないものの1つ。

一方、正真正銘のピッキング技と言えるのが、Ex-10「Burn」の見事なアルペジオ。[Gm→Cm→F→B♭→E♭→Cm→D]というクラシカルなコード進行の中、それぞれのトライアドを連ねたこのフレーズは、奏法云々より何より、まずロックでは未体験の美しさが驚嘆だった。

"黄金"と言われた第2期メンバーからイアン・ギラン、ロジャー・グローヴァーが抜け、ファンは先行きを案じていた73年、デイヴィッド・カヴァデールとグレン・ヒューズを迎えたDPは、新たなモチヴェーションの下、名盤『BURN』を制作。「Burn」のリフ(Ex-4)、そしてこのアルペジオは、"第3期"を象徴するという意味でも特筆だ。

そのピッキングは、譜面に示したピッキング記号の通り、[1弦→2弦→3弦]＝[V→V→■]を基本としたパターン(1カッコと2カッコは[V→V→■→V]繰り返し)。オルタネイトより円滑なピックの運びになるが、微妙にリズムが崩れやすいのが玉にキズ。練習の際はそこを課題にすべきだ。

続くEx-11「Kill The King」の前半も、同じピッキングを駆使した名フレーズ。レインボー時代のこちらの方が少々テンポが速く、その"少々"は難易度を飛躍的に上げている。

技巧を超越した美旋律センス

Ex-10のアルペジオ奏法とは違うが、クラシカルな素養から生まれたという意味で同種と言えるのが「A Gypsy's Kiss」のEx-12。リッチーのフレーズにはベートーヴェン「第9」やバッハ「トッカータとフーガ」等をモチーフにしたものがあるが、Ex-12も極秘の"素"があるのだろうか…。

最後のEx-13「Vielleicht Das Nachste Mal (Maybe Next Time)」は、ボトルネックによる涙ナミダの旋律弾き。リッチー奏法ではそう強調される事もないが、実は十八番だ。ちなみに彼は、ボトルネックを"スチール"と呼んでいる。

SPECIAL GUITAR SCORE from BLACKMORE's MASTERPIECES

Spotlight Kid

from『DIFFICULT TO CURE』/RAINBOW

では、当奏法企画の締めとして、レインボーの'81年作品に収録されたこの曲のスコアを掲載しよう。ライヴではオープニングにプレイされる事も多い名曲だ！

PLAYING EXPLANATION

POINT-1 CD Time：0'15"

6弦の押弦に親指を使用したメイン・リフ。最初はその押弦に違和感を覚えるかもしれないが、他の指で代用しようとすると一気にプレイの難易度が上がってしまうので、何とかこのスタイルをマスターしたい。また、ここに指定した運指は基本的にリッチーのそれに倣ったものだが、和音部分は他の指の方が押さえやすいという人もいるはず(例えば[3弦7f＆4弦7f]は中指バレー、[3弦9f＆4弦9f]は小指バレーでの押弦が合理的かつ一般的)。そちらに関しては、各自、臨機応変に対応して欲しい。

POINT-2 CD Time：0'30"

譜面に記された"X"部分は、いわゆる"ブラッシング"によるプレイ。直前に弾いているコードの左手フォームを緩め(指は弦に触れたまま)、全弦をミュート状態にして8分リズムでピッキングすればOKだ。当曲のバッキングでは、BmとAの2コードしか使用していないが、このブラッシングを効果的に挟む事で、プレイにメリハリを加えている。

POINT-3 CD Time：1'59"

異弦同音のフィンガリングによるソロの導入部分。"チョーキング"と"1音アップ"のニュアンスの違いを意識しつつ、原曲をよく聴いて微妙な音程変化を再現しよう。当然、2弦を押さえる指が1弦の開放に触れてミュートしてしまうのは御法度だ。

POINT-4 CD Time：2'14"

低音弦のロー・ポジションから高音弦のハイ・ポジションまで一気に駆け上がって行くギミック風フレーズ。譜面上には、6弦から3弦までが各弦につき4音(半音間隔)ずつの上昇、2小節目3拍以降は1弦上を綺麗に半音間隔でポジション・アップして行くよう記しているが、低音から高音へ勢い良く駆け上がって行くニュアンスさえ出せればいいので、細かいポジショニングやリズムに神経質になる必要はない。尚、4小節目のカッコの付いた音符及び×印の部分は、押弦指が最高音フレットを超えてピックアップの上まで到達している事を示している。

POINT-5 CD Time：2'30"

当曲のハイライトと言っていいクラシカルなキメ・フレーズ。ピッキングは8分のオルタネイトだ。3、7小節目のような各弦につき1音ずつ発音するようなフレーズは、2～4弦をコードのように押弦したままだと音が重なってしまうので、発音直後に押弦指を浮かせて音を短く切ろう。また、3音フレーズを16分に乗せた9小節目以降は、フレーズ毎にピッキングのパターンが[ダウン→アップ→ダウン]と[アップ→ダウン→アップ]で入れ替わる点に注意。

Spotlight Kid

RAINBOW

by R.Blackmore, R.Glover

The crowd's go - ing wild
It's a pleasure machine
It seems like an age
Bm
A
人 人 人 中 小 薬 親 開
feel so a - - live
fly ev - ery night
core one more time
D
And you feel so a - - live
And you fly ev - ery night
En - - - core one more time
You could
But the
For the
G
Em
stand up and take this all night
dres - - sing room mir - - ror don't lie
ghosts of the past in your mind
(1.2.3.) They love you spot - light
(1.2.3.) They love you but you're in love with the spot - - light

You're the spot - - light kid

Bm

spot - light

You're in love with the

to ⊕

Bm G F♯ Em Bm

You're the spot - - light kid

Bm

1. 2.

(It's com - ing)

Bm G F♯ Em Bm G F♯

Spotlight Kid◆Rainbow

Harm
(8va)
with Bottle Neck
Bm
Em
Dm
(with Bottle Neck)
F
8va
C♯
F♯m
H P
POINT-5
E
A
D
G♯

Spotlight Kid◆Rainbow

G 33

H

B Em B Em

B Em B Em D

8va

G C

F♯

Your

D.S.

spot - light

yeah,
You're in love with the
Bm
G F♯
Em Bm
spot - light
Oh,
You're the spot - light kid
yeah
You're in love with the
spot - light
Oh,
You're in love with the
Repeat & F.O.